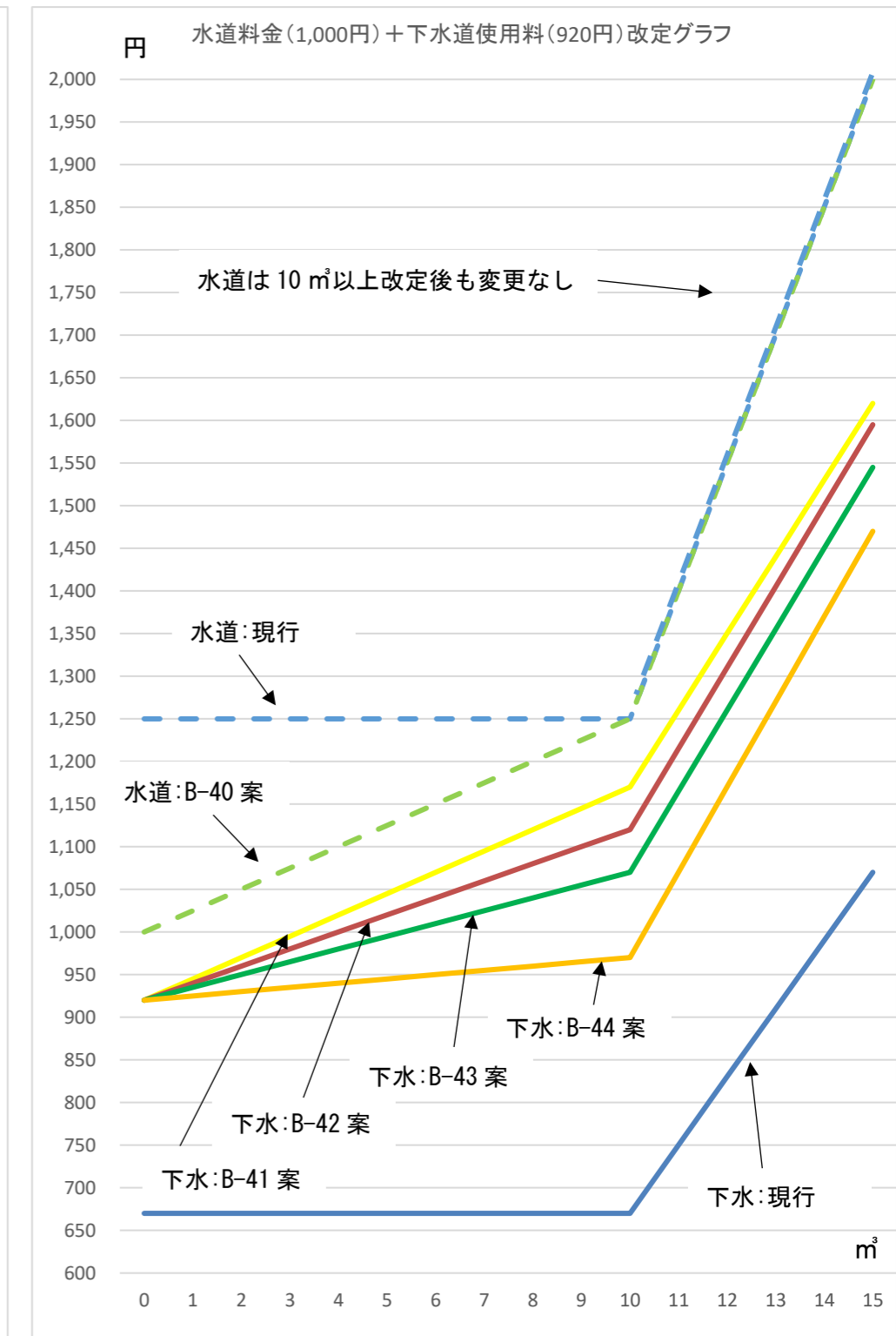
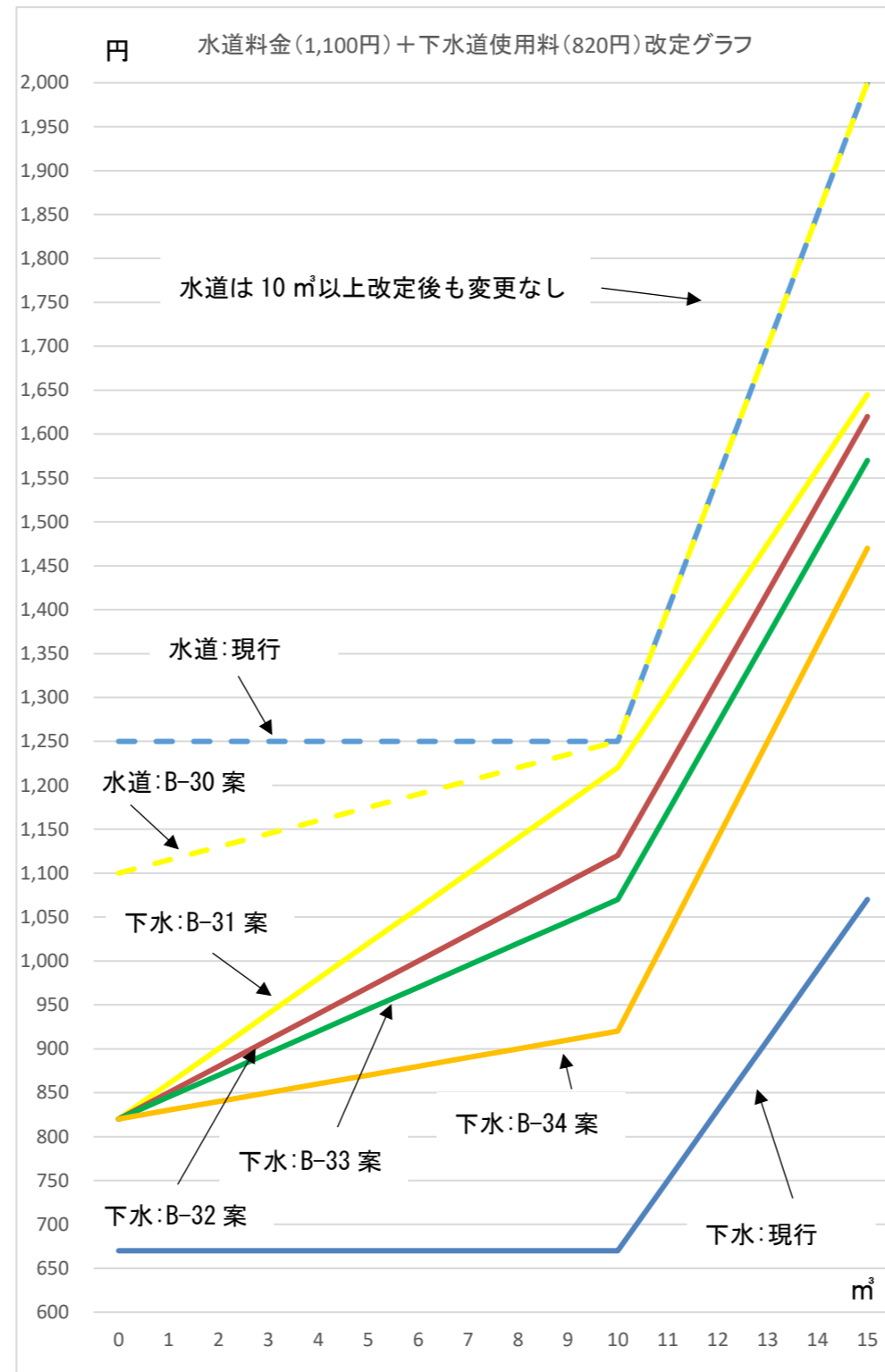
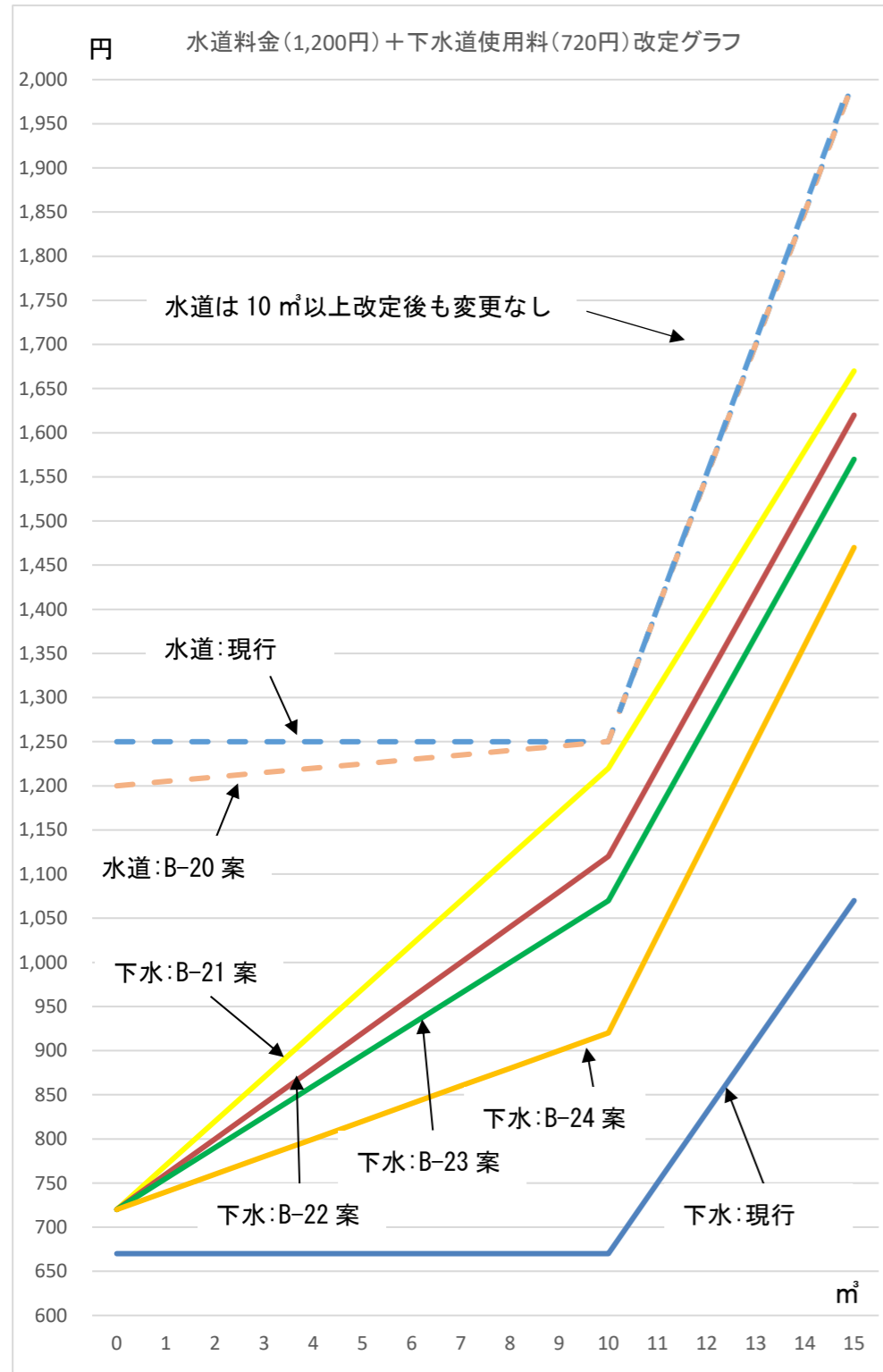


# 上下水道料金改定モデルパターン比較グラフ



## 【3パターンの特徴・・・単価の設定の仕方によっても変わってくるが大まかな特徴として】

水道：料金収入の減収が一番少ない。

下水道：改定時の使用料収入額は、3パターン同じ  
経年後の減収が一番少ない。

21→24 になるほど小口の負担が減少するが、減収も進む。

水道：料金収入の減収は、3パターンの中で間

下水道：改定時の使用料収入額は、3パターン同じ  
経年後の減収は、3パターンの中で間

31→34 になるほど小口の負担が減少するが、減収も進む。

水道：料金収入の減収が一番多い。

下水道：改定時の使用料収入額は、3パターン同じ  
経年後の減収は、一番多い。

41→44 になるほど小口の負担が減少するが、減収も進む。